



泌尿器科紀要

第 12 卷 第 12 号

昭和 41 年 12 月

随想 妻の病気に想う篠田 孝...1337

造精機能障害に関する実験的研究

第I編 諸種薬物の精細管におよぼす影響について蛭多 量令...1339

造精機能障害に関する実験的研究

第II編 カドミウム塩の辜丸および諸臓器におよぼす影響について蛭多 量令...1357

膀胱癌に関する研究 第III編 悪性度に関する病理組織学的研究
(予後に影響をおよぼす組織像の分析と抽出)吉田 修...1374

自家症例による Aldosterone 症の 2, 3 の問題鈴木 三郎・佐々木 寿...1397

多発性嚢胞腎を合併した下大静脈後尿管: 下大静脈離断後再吻合術による治療
.....藤井 浩・雀部 将・荒木 徹...1422

前立腺癌末期の全身骨転移に伴う疼痛に対する P³² の効果
.....中新井邦夫・時実 昌泰・奥田 徹・伊藤 泰二...1429

無圧迫腎盂撮影について (Urokolin M 75 による Regular Method の成績)
.....小松須賀男...1435

昭和40(1965)年度京大泌尿器科の臨床統計稲田 務・他...1441

上部尿石症に対する Nephrolith の使用経験
.....稲田 務・北山 太一・小松 洋輔...1449

泌尿器科領域における BC-80L (新尿路・血管造影剤) の使用経験
.....杉田 篤生・小野寺 豊・鈴木 麒一...1453

Eviprostat による前立腺肥大症の治験
.....久保 泰徳・井上 進・小野 利彦・保井 明泰...1463

編集後記・購読要項・投稿内規1468

第12巻 総目次・物件索引 人名索引

Experimental Studies on Disturbance of Spermatogenesis.

I Effects of Various Drugs on Seminal Tubuli.
..... K. Ebisuta...1339

Experimental Studies on Disturbance of Spermatogenesis.

II Effect of Cadmium-salt on Testicle in Rats. K. Ebisuta...1357

Studies on Carcinoma of the Urinary Bladder.

III Pathohistological Investigations on Malignancy (Biostatistical Analysis
of Histological Pictures Might Affect the Prognosis) O. Yoshida...1374

Some Remaining Problems of Aldosteronism from Personal Case.
..... S. Suzuki and H. Sasaki...1397

Retrocaval Ureter Associated with Polycystic Disease of the Kidneys: Treated by
Division and Reanastomosis of the Vena Cava.....Y. Fujii,
S. Sasabe and T. Araki...1422

Successful Relief of Severe Pain from Bone Metastases of Carcinoma of the
Prostate by the Treatment with P³².K. Nakaarai, M. Tokizane,
N. Okuda and S. Ito...1429

Studies on Intravenous Pyelography without Pressure.
Results of IVP by Means of Regular Method with Urokolin M75.....S. Komatsu...1435

Clinical Statistics on Patients, Operations and Main Urological Examinations in
the Department of Urology, Kyoto University, 1965.....T. Inada et al...1441

A Clinical Evaluation of "Nephrolith" for Urolithiasis.....T. Inada,
T. Kitayama and Y. Komatsu...1449

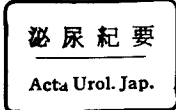
Clinical Experience of BC-80 L (New Contrast Media of Urography and
Angiography) in Urological Field.....A. Sugita, Y. Onodera and K. Suzuki...1453

Treatment of Prostatic Hypertrophy with "Eviprostat".
.....Y. Kubo, S. Inoue, T. Ono and A. Yasui...1463

Index of Volume 12.

京都大学医学部泌尿器科学教室
Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto, Japan

Editor : Prof. Tsutomu INADA



編集後記

本年度ノ連合地方会ハ東部（札幌医大） 西部（山口医大） 中部（関西医大） ノ順ニ開カレ 私ハ幸ニ ソレヲ全テニ出席デキタ。イヅレモ甚ダ盛会デ 総会ノヨウナ感ジデアッタ。一般ニ 特別講演 シンポジウム 等ニ力ガ注ガレ ソレハヨイ傾向デアルガ 他方ニハ一般演説ガ窮屈ニナルノデ ソコニ運営上ノ悩ミガアル。特ニ若イ人々ノ研究ガ目立チ 斯学ノ将来ニ大キナ希望ヲ抱カセル。コノ人達ニ研究ノ環境ト発表ノ機会ヲ与エル事ガ大切デアル。ソレニツケテモ 日本ニ於ケル医学ハ日進月歩デアルノニ 政治ト役所ガ後レテイル事ヲ痛感スル。

学会運営ニ於テ實際的ニ大キナ関係ノアル事ノーツハ スライド ニ関スル事デアロウ。コレニ就テ考エテミヨウ

先ズ スライド ノ枚数デアルガ コレガ多イト 説明ヲ早口デ云ツタリ アルイハ省略シテ スライド ダケヲ ドシドシ 流スコトニナル。コレデハ話ス方モ聞ク方モ忙シク 然モ時間ガ多クカカル。枚数が少ナケレバ ユックリ話シ 時間ニ追ワレルコトモナイ。重要ナ スライド ダケニスルノガヨイ。外国学者ノ演説デハ 概シテ スライド ノ数が少ナク 一枚ニ就テ ユックリ説明シテイル。二枚ヲ同時に並ベテ掲ゲル事モ少ナク 一枚ヲ大キク写シテイル。二枚ヲ並ベル事ハ 一般的ニハ注意ヲ分散サセル事ニナル。

次ニ 細カナ字ヲ タクサン 書イタ スライド ハ廃メルベキデアル。読メモンナイシ 読ンデイル時間モナイ。唯 見ルダケデアル。字ヤ グラフ 等ハ簡単な 大マカナモノガヨイ。但シ 図 写真 標本等ハ スライド ニシテ目デ見ルノガヨイガ。

私ハ時々 目ヲ閉ジ スライド ヲ見ズニ耳デ聞クコトニシテイルガ ソノ方ガヨク判ル。目デ見テイルト 何ダカ判ツテイルヨウダガ 実ハ判ツテイナイ 見テイルダケデアル。又 スライド ヲ読ンデイル時ニハ 演説ヲ聞イテイナイ。テレビ ヨリモ ラジオ ノ方ガヨク頭ニ入ルノト同ジデアル。

特別講演等ハ別トシテ 時間ノ短イ一般演説デハ ソノ場デヨク判ルヨウニ 要点ダケヲ話スベキデ 細カナ図表ヤ文字等ハ 論文ヤ著書ニ於テ示スベキモノデアロウ。スライド ヲ多クシテモ 仕事ヲ多クシタ事ニハナラス。要点ヲ ハッキリ サセル事ト 細部ヲ省略スル事ガ大切デアロウ 一億総スライド ノ愚ヲ止メヨウ（昭和41年12月）。

購読要項

1. 発行は毎月（年12回）とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,500円を前納する。1冊料金 150円。払込みは振替口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は会員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。1) 中野：泌尿紀要，1：110，昭30。2) Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 : 527, 1941.
5. 欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を附け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳する。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受ける。
6. 掲載料の著者負担は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アト頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。